

北関東ブロック訓練競技会

- 公開訓練試験併催（BHを含む）
- 理事長賞付与

2023

開催日：2023年11月12日（日）[雨天決行]

栃木県真岡市

会場：鬼怒川河川敷緑地公園

受付時間：午前7時00分～8時00分

競技開始：午前8時00分 [予定]

※受付時間及び競技開始時間にご注意下さい。全競技終了後、理事長賞決定競技を行います。

※審査、出場順は、出陳目録掲載番号順を原則とします。また、発情犬は、各クラスの最後に競技していただきますので、受付時に申告して下さい。

※出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地(都道府県・市区)が掲載されます。

申込開始日：2023年10月9日(月)

申込締切日：2023年10月23日(月) **郵便必着**

※当日申込及びFAXでの受付は致しません。

※出陳料は必ず現金書留で郵送してください。

現金書留以外の方法で送付された場合、万が一事故等が発生しても一切の責任を負いかねます。

競技会事務所

〒329-0515 栃木県下野市中大領406-2

栃木トレーナーズ全犬種クラブ 内

池上行雄方 TEL 090-2452-2874

審査員長兼公開訓練試験委員

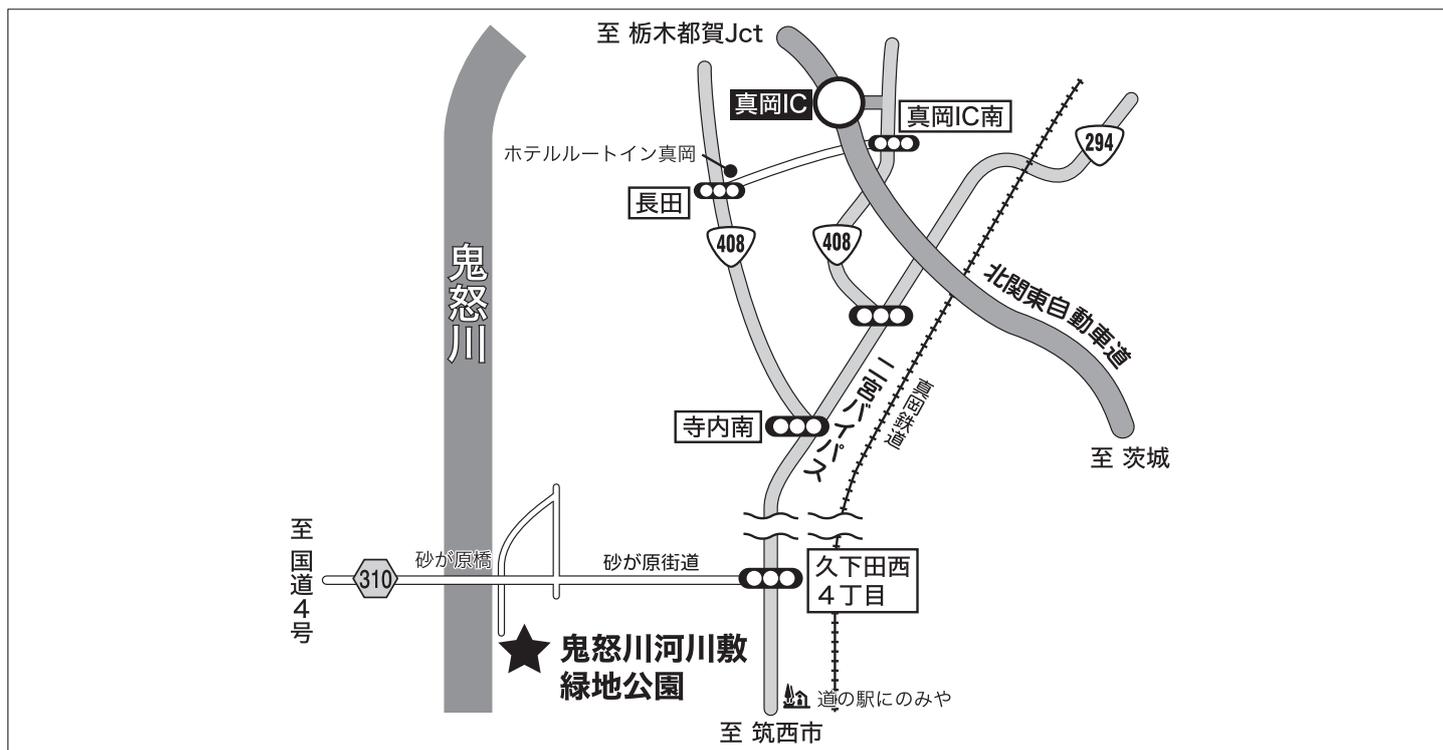
前田清文

参加上の注意事項

- ①開門時間前に門の前に並ぶ行為はおやめ下さい。
- ②車輛は指定された駐車位置に駐車して下さい。
- ③駐車スペースの場所取りは禁止とします。
- ④事前に利用申し込みをされたパドックスペース以外でのテント・タープ等の設営は禁止です。
- ⑤駐車スペースを含む会場内は火気厳禁・完全禁煙です。
- ⑥リンク以外では必ず犬に紐を付けて通行して下さい。
- ⑦水道設備がございません。各自でご用意をお願いします。
- ⑧お弁当の配布はございません。
- ⑨ゴミ、糞便は各自お持ち帰り下さい。
- ⑩会場では必ず各係員の指示に従って下さい。
- ⑪悪天候や感染症の流行などのやむを得ない理由により競技会を中止する場合及び、締切前に申込みをキャンセルする場合は、事務手数料として出陳料より1頭につき1,000円を申し受け、残金を返金いたしますのでご了承ください。

訓練競技会規程第51条

主催者は、会員、非会員を問わず、競技会会場の規律、平穩を害するおそれのある者の競技会会場への入場を制限することができる。



主催 北関東ブロック訓練士協議会

後援 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ (JKC) / 東日本ブロック訓練士協議会

実施要領

1 出陳規定

- (1) 本会会員が所有する、生後満9カ月1日以上（2023年2月11日及びそれ以前の生まれ）の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）に限ります。
- (2) 本会会員所有の非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は、生後満9カ月1日以上であれば家庭犬準初等科・特別犬の部に限り出陳することができます。ただし、訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオン（T. C.H.）ポイントカードは付与されません。
- (3) 同一犬の重複出陳については、以下の通りとなります。
 - ① 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科は、連続する2つのクラスまで出陳できます。
※例えば、家庭犬中等科と家庭犬準高等科では同時出陳できますが、家庭犬中等科と家庭犬高等科では同時出陳することはできません。
 - ② 家庭犬準初等科・初等科・中等科・準高等科・高等科のうち1つのクラスと、臭気選別の部に出陳できます。
 - ③ 服従スペシャルと中等科・準高等科・高等科・臭気選別の部のうち1つのクラスに出陳できます。
 - ⑤ ラリーオビディエンスIと特別犬を除く全てのクラスのうちの1つのクラス。ただし、ラリーオビディエンスIに出陳する非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は家庭犬準初等科・特別犬の部のうち1つのクラスに出陳できます。
 - ⑤ 同一犬が、複数のトレーニングチャンピオン（T. C.H.）ポイントカード及びメジャー・トレーニングチャンピオン（M. T. C.H.）ポイントカードを取得した場合、1クラスのみ有効とします。
- (4) 伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬、並びに咬癖犬・妊娠犬の出場はご遠慮下さい。また、発情犬は、各クラスの最後に審査を行います。
- (5) 会場内における事故の責任は、一切所有者といたします。本競技会規定並びに実施要領は別記の通りですが、都合で一部変更する場合があります。

2 申込方法

- (1) 競技会出陳申込
所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料1頭1クラスにつき8,000円を添え締切日までに競技会事務所必着となるように申込下さい。
- (2) 公開訓練試験受験申込（BHを含む）
各「訓練試験登録申請書」に必要事項を記入し、受験料1科目につき5,400円を添え締切日までに大会事務所必着となるよう申込下さい。なお、BH（同伴犬訓練試験）については2023年10月9日を受付開始日とし、申込頭数が10頭になり次第締め切らせていただきます。10頭を超えた受付分については、抽選とさせていただきますので予めご了承下さい。
※両申込とも競技会当日、会場での申込は受付いたしません。また、FAXでの申込も、受付いたしません。

3 審査規定

- (1) 審査は、JKC公認審査員により厳正公平に採点いたします。
- (2) 競技課目は「訓練試験課目・訓練競技課目に関する規程」により行います。
- (3) 競技はアマチュア指導手の部6種目と一般の部10種目に分けて行います。
- (4) 総合得点が同点の場合は、規定課目の得点の高いものを上位とします。規定課目の得点も同点の場合は、担当審査員が判定します。
- (5) 審査の結果に対しては異議の申し立ては許されません。
- (6) 各部共、全ての課目は脚側停座に始まり、脚側停座で終わります。これが守られない場合は、減点の対象となります。

4 指導手規定

本競技会出場犬の指導手の参加資格は、本会のクラブ会員並びにその家族とし、次の通りとします。

A. アマチュア指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族（同居の血縁者）の方に限ります。※本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者（訓練を業とした経歴を持つ者）は、アマチュア指導手の部には出場できません。その認定は中央訓練委員会で行います。

B. 一般指導手の部について

- ① 出陳犬所有者本人、またはその家族（同居の血縁者）の方。
- ② 本会の公認訓練士並びにその助手、及びこれに準じる者（訓練を業とした経歴を持つ者）。
- ③ 自己所有犬以外の犬を指導する方。

5 競技課目

■アマチュア指導手の部

第1部 家庭犬準初等科（CDIS）

50点 5課目中規定2課目（下記）

- ① 紐付脚側行進（往復常歩）② 紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア、紐付伏臥、イ、紐付行進並びに伏臥、ウ、紐付行進並びに停座、エ、紐付行進並びに立止、オ、紐付障害飛越（片道）、カ、紐付据座、キ、紐付休止、ク、紐付お手・おかわり、ケ、紐付チンチン、コ、紐付くわえて歩く、サ、紐付寝ろ、シ、紐付吠えろ、ス、紐付だっこ

第2部 家庭犬初等科（CDI）

50点 規定5課目（下記）

- ① 紐付脚側行進（往復常歩）② 紐無し脚側行進（往復常歩）③ 停座及び招呼④ 伏臥⑤ 立止（紐無し）

第3部 家庭犬中等科（CDII）

100点 10課目中規定7課目（下記）

- ① 紐付脚側行進（往路は常歩・復路は速歩）② 紐無し脚側行進（往路は常歩・復路は速歩）③ 停座及び招呼④ 伏臥⑤ 立止（紐無し）⑥ 常歩行進中の伏臥⑦ 常歩行進中の停座 他3課目

第4部 家庭犬準高等科（CDIIS）

150点 15課目中規定10課目（下記）

- ①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧ 常歩行進中の立止⑨ 障害飛越（片道）⑩ 休止 他5課目

第5部 家庭犬高等科（CDIII）

200点 20課目中規定14課目（下記）

- ①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧ 常歩行進中の立止⑨ 物品持来⑩ 遠隔・停座から伏臥⑪ 障害飛越（片道）⑫ 障害飛越（往復）⑬ 据座⑭ 休止 他6課目

第6部 服従スペシャル

100点 10課目

- ① 紐無し脚側行進（往路常歩、復路速歩）② 立止（紐無し）③ 停座及び招呼④ 常歩行進中の伏臥及び招呼⑤ 常歩行進中の立止及び招呼⑥ 物品持来⑦ 遠隔・伏臥から停座⑧ 遠隔・立止から伏臥⑨ 速歩行進中の伏臥⑩ 速歩行進中の停座

実施要領

■一般の部

第7部 家庭犬準中等科 (CDIS)

50点 5課目中規定2課目(下記)

①紐付脚側行進(往復常歩)②紐付立止

次の13課目のうちから3課目選択

ア. 紐付伏臥、イ. 紐付行進並びに伏臥、ウ. 紐付行進並びに停座、エ. 紐付行進並びに立止、オ. 紐付障害飛越(片道)、カ. 紐付据座、キ. 紐付休止、ク. 紐付お手・おかわり、ケ. 紐付チンチン、コ. 紐付くわえて歩く、サ. 紐付寝ろ、シ. 紐付吠えろ、ス. 紐付だっこ

第8部 家庭犬初等科 (CDI)

50点 規定5課目(下記)

①紐付脚側行進(往復常歩)②紐無し脚側行進(往復常歩)③停座及び招呼④伏臥⑤立止(紐無し)

第9部 家庭犬中等科 (CDII)

100点 10課目中規定7課目(下記)

①紐付脚側行進(往路は常歩・復路は速歩)②紐無し脚側行進(往路は常歩・復路は速歩)③停座及び招呼④伏臥⑤立止(紐無し)⑥常歩行進中の伏臥⑦常歩行進中の停座 他3課目

第10部 家庭犬準高等科 (CDIIS)

150点 15課目中規定10課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨障害飛越(片道)⑩休止 他5課目

第11部 家庭犬高等科 (CDIII)

200点 20課目中規定14課目(下記)

①～⑦までは家庭犬中等科と同じ⑧常歩行進中の立止⑨物品持来⑩遠隔・停座から伏臥⑪障害飛越(片道)⑫障害飛越(往復)⑬据座⑭休止 他6課目

第12部 服従スペシャル

100点 10課目

①紐無し脚側行進(往路常歩、復路速歩)②立止(紐無し)③停座及び招呼④常歩行進中の伏臥及び招呼⑤常歩行進中の立止及び招呼⑥物品持来⑦遠隔・伏臥から停座⑧遠隔・立止から伏臥⑨速歩行進中の伏臥⑩速歩行進中の停座

第13部 特別犬の部(非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬)

家庭犬中等科の課目内容とする。

第14部 臭気選別自臭の部 (図1参照)

第15部 臭気選別他臭の部 (図1参照)



- 10m前方の選別台にある5個の布片の中から、1個の本臭物品を持来する。
- 1頭の犬が連続4回実施する、4回成功した犬をCHグループとし2次作業を行う。
- 物品を台上に配置するときは、人犬共に後ろ向きになる。
- 作業時間は、本臭を嗅がせ始めてから1分以内とする。
- 決勝のための2次作業以降は、ビニール、箸、紙等を異物品として使用することがあり、犬の前後動作も採点する。

第16部 ラリーオビディエンスI (別紙参照)

※ラリーオビディエンスの申込みではサイズの選択があります。

実施要領

6 注意事項

(1) 審査に関するご注意

- ① 作業中とは入場から退場までをいいます。作業中としての審査は、課目と課目の間も対象になります。
- ② 犬の首輪は、バンドナ、チェーン、カラーなどを含めて、一つだけの装着とします。
- ③ 指導手はポシエツ類の装着はできません。
- ④ ラッピングされた状態での出陣は認められません。また、ラッピングの箇所や数については制限いたしません。

(2) 各課目に共通したご注意

- ① 規定課目を行う場合は、各動作を1声符のみで完全に行われた場合を満点とし、視符を使った場合は最小単位の減点があります。(前進、障害を除く)
- ② 作業中、逸走した場合、その課目は0点となります。呼び出してすぐ戻ったものは次の課目に進めます。2回逸走した場合は以降の作業は中止となります。(ただし過度の逸走は、1回でも作業中止となる場合があります。)
- ③ 指導手がボール、えさ等を持って作業した場合は失格となります。
- ④ 作業中の大便、小便は大きな減点となります。
- ⑤ 審査員(またはスチュワード)の指示で命令をしなければならない時に、指示前にした場合は減点となります。
- ⑥ 作業中に不自然な、または余分な声視符、並びに誘導的動作は減点の対象となります。
- ⑦ 指導手の命令前に犬が動作した場合は、減点となります。
- ⑧ 作業中犬の首輪を持った場合は減点となります。(選別作業は除く。)
- ⑨ 作業会場の入場から退場まで、犬に対する体罰は許されず、失格もありえます。
- ⑩ 各課目の最後の脚側停座は、「アトエ」または「スワレ」の1声符のみで完全に行われた場合にのみ、満点となります。それ以上の声視符は使用毎に最小単位の減点があります。
- ⑪ 対面して行う作業は、必ず犬を一旦停止させ、審査員の指示により、犬を呼び脚側停座で終わります。(実施要領に特定の記載のある課目は除く)
- ⑫ 指導手が課目や実施要領を間違えた場合は、減点の対象となります。ただし、課目の作業前に審査員もしくはスチュワードに課目順を質問することは問題ありません。

7 入賞

(1) 各部の審査終了後、審査員長により、理事長賞審査が行われます。

(2) 理事長賞決定競技の実施要領が以下のように変更となります。

- ① 規定課目 1 課目及び選択課目 4 課目、合計 5 課目で実施します。
規定課目…(1)紐無脚側行進
選択課目…(1)紐付脚側行進(2)停座及び招呼(3)伏臥(4)立止
(5)常歩行進中の伏臥(6)常歩行進中の停座
(7)常歩行進中の停座及び招呼(8)常歩行進中の伏臥及び招呼
- ② 選択課目については、8 課目の中から当日の審査員長が 4 課目を決定します。
- ③ 実施する 5 課目の順番は、審査員長が予め決定し、全犬同じ課目順で実施します。
- ④ 選択課目及び実施順番は、当日の朝に発表します。

(3) 各部各クラス 1 席より 5 席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

8 トレーニング(T. CH)並びにグランドトレーニング(G. T. CH)登録制度

(1) 中等科・準高等科・高等科・服従スペシャルにおいて95%以上の得点を得た犬、臭気選別他臭の部で4回中3回以上成功した犬にトレーニングチャンピオン(T. CH.)ポイント7Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)・東西日本トライアル10P、
ST連合会訓練競技会7P、クラブ訓練競技会5P

なお、家庭犬初等科において95%以上の得点を得た犬、臭気選別自臭の部で4回全て成功した犬、にはトレーニングチャンピオン(T. CH.)ポイント2Pを交付します。

訓練競技大会(本部主催)・東西日本トライアル3P
ST連合会訓練競技会2P、クラブ訓練競技会1P

(2) アペンディクス登録犬及び本会登録犬以外の犬は訓練チャンピオン資格犬にはなりませんので、トレーニングチャンピオンポイント及びメジャー・トレーニングチャンピオンポイントは付与されません。

(3) トレーニングチャンピオンポイントのうち、家庭犬準高等科・家庭犬高等科・服従スペシャル、臭気選別他臭の部は、メジャーポイントになります。

(4) トレーニングチャンピオン(T. CH.)資格の取得と登録

- ① トレーニングチャンピオンポイント(T. CH. P.)を20ポイント以上取得した犬に与えられます。ただし、取得した20ポイントのうち2枚以上は5ポイント以上のT. CH. ポイントでなければなりません。
- ② T. CH. 取得に際しては、CD II 以上(GD、IGP、BH、OBを含む)の訓練試験資格の登録をしなければなりません。

(5) グランドトレーニングチャンピオン(G. T. CH.)資格の取得と登録

- ① G. T. CH. の資格条件は、T. CH. P. を60ポイント以上有する犬に与えられます。ただし、メジャーポイントを1枚以上取得していることと、T. CH. の登録を期限内に申請していることが条件となります。
- ② 仮に24ポイントで、トレーニングチャンピオン登録を行った場合、残り36ポイントでグランドトレーニングチャンピオンの資格条件が与えられます。

(6) 登録料は、T. CH. が3,500円、G. T. CH. が6,800円です。

(7) チャンピオン登録を行いますと、チャンピオン証明書が贈られ、血統証明書にT. CH.、G. T. CH. の称号が印字され、その名誉が永久に記録されます。

(8) トレーニングチャンピオン、グランドトレーニングチャンピオン登録に際しては、当該犬のDNA登録が必要となりますので、ご注意ください。

実施要領

1 出陳犬について

出陳犬は、クラブ会員が所有する生後9カ月1日以上の本会登録犬（アペンディクス登録犬を含む）並びに非公認犬種、非公認団体登録犬、交雑犬とします。

2 カテゴリーについて

出陳犬の体高により、次の2つのカテゴリーに分割して競技を行います。

- (1)スモール・ミディアム・・・体高43cm未満の犬
- (2)ラージ・・・・・・・・・・体高43cm以上の犬

3 指導手について

指導手は、本会のクラブ会員並びにその家族とします。

4 実施要領

(基本規程)

- ①指導手は、競技前にステーションの番号とパネルに書いてある服従の課題課目を順に覚えます。
- ②指導手は犬を脚側につけ、番号順にパネルの左側または、パネルの前で犬とコミュニケーションをとりながら課目をこなします。
- ③コミュニケーションをとるため、競技中に課題が出来たことに対して犬を褒める、励ます言葉は許されます。ただし、体罰や厳しい指示（言い方）は禁止となります。
- ④指導手は、紐付きで行うか、紐なしで行うかを決めることができます。
- ⑤コースの途中におやつをあげても良い箇所、少し触っても構わない箇所が1～3箇所あります。
ただし、ニコニコマークのあるパネル、及びゴール後とします。
- ⑥おやつは、ずっと手に持ったままでなく犬の反対側のポケット（ポーチ・エプロン等は禁止とする）に入れることとします。
- ⑦おやつは、その都度ポケットから取り出し、左右どちらかの手を使って与えることとします。なお、指導手は自身の口におやつを含むことは不可とします。
- ⑧指示は、声符・視符・体符同時であれば使用できます。
- ⑨競技中、犬に触れてはならないが、偶然当たることは許されます。
- ⑩指導手は、自然に腕や手を振り、犬を自然に扱うこととする。不自然な動きは、審査員から注意が与えられます。2回目の注意で失格となります。
- ⑪紐の持ち方は、片手でも両手でもよいこととします。
- ⑫紐を競技中に持ち変えることができます。
- ⑬リング内には、犬を紐付きで出入りします。
- ⑭紐なしで競技を行う際には、リードを肩（左右どちらでも良い）に掛けるか、ポケットに入れます。

(参加条件)

- ①障害のある犬でも、体調が良ければ参加可能です。
- ②指導手に障害がある場合でも、参加可能です。ただし、障害の状態を申告しなければなりません。
車イス（手動・自動）、杖等で参加できます。
- ③妊娠犬、病気やケガ、目で見える犬の病気（下痢、嘔吐、足をひきずっている等）の時は、参加できません。
- ④発情犬は、最後の出陳となります。
- ⑤他の犬や、人の安全を脅かす攻撃的な犬は、参加できません。
- ⑥出陳犬のスパイク、口輪、胴輪、服は禁止となります。
- ⑦チョークチェーンは締まらないようにしてください。
- ⑧金属のリードや、伸びるリードは禁止となります。

(コース)

コースは、担当審査員が設計します。

パネルの数は、13～18個の他、スタートパネルとゴールパネルを使用します。

パネルは、次頁(1)～(31)の中から選ばれます。

(コース検分)

- ①競技開始前に、コースが設置されたリング内に指導手のみを入れて、検分を行います。
- ②検分時間は10分以内とします。
- ③検分中に指導手が分からない時は、審査員に質問ができます。
- ④障害のある指導手及び18歳未満の指導手は、ヘルパーと一緒に検分ができます。
- ⑤競技者が20名以上の場合、検分を分ける場合があります。
- ⑥複数の犬を出陳する指導手の検分は、1回とします。

(スタート)

- ①審査員の指示で、指導手は常歩でスタートをし、指導手の判断で最後まで行います。
- ②審査員のスタート指示後、15秒以内にスタートラインを越えないと失格となります。
- ③指導手の足、または犬の前足どちらか早い方の足がスタートラインを越えた時から、タイムが計測されます。スタートする前は、停座、伏臥、立止のいずれかとします。

(ゴール)

- ①指導手の足、または犬の後足どちらか遅い方の足がゴールラインを越えると、ゴールとなります。
- ②ゴールを越してタイムが止まった後は、よく褒めてください。
- ③競技が終わったら、速やかにリンクを出ることとします。

(リミットタイム)

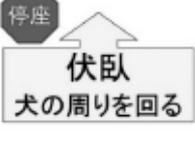
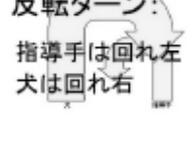
- ①リミットタイムは、原則として4分となります。
- ②障害のある指導手及び18歳未満の指導手のリミットタイムは5分となります。
- ③審査員はコースの距離等により、リミットタイムを加算することができます。
- ④リミットタイムを越えた場合は、失格となります。

5 重複出陳

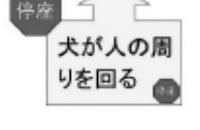
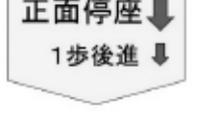
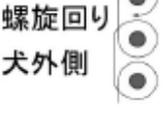
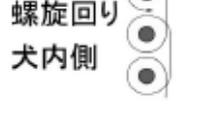
ラリーオビディエンスⅠ出陳犬は、特別犬の部を除く全ての部のうちから1つのクラスに重複出陳することができます。

ただし、非公認犬種・非公認団体登録犬・交雑犬は、準初等科・特別犬の部・オビディエンスビギナーⅠ～Ⅱのいずれかに重複出陳することができます。

パネ ル 一 覧

	<p>スタート 審査員の指示でスタートする。 スタートする前は座らなくてもよく、基本姿勢は必要ない。 スタートの線を越してタイムを計りだす。</p>		<p>ゴール ゴールを越してタイムが止まった後は、犬をほめる。</p>
	<p>(1) 右回り及び脚側停座 指導手の右から後ろに回り脚側停座させる。</p>		<p>(2) 左回り及び脚側停座 指導手の左から回り脚側停座させる。</p>
	<p>(3) 右回り及び前進 指導手の右から後ろに回り、そのまま前進して、次の課目に向かう。</p>		<p>(4) 左回り及び前進 指導手の左から回り、そのまま前進して、次の課目に向かう。</p>
	<p>(5) 脚側停座 パネルの左側の作業エリア内で脚側停座させる。なお、指示なし停座、指示あり停座のどちらでもよい。</p>		<p>(6) 脚側停座及び伏臥 パネル左側の作業エリア内で、脚側停座後に伏臥を命じる。伏臥からは停座させずに、次の課目に向かう。</p>
	<p>(7) 脚側停座、伏臥及び脚側停座 パネル左側の作業エリア内で、脚側停座後に伏臥を命じ、続けて停座を命じ、次の課目に向かう。</p>		<p>(8) 脚側停座及び犬周回 (左回り) パネル左側の作業エリア内で脚側停座させる。指導手は左回りで犬を一周して、犬の右側で止まる。指導手と犬は、少しの間静止した後次の課目に向かう。指導手は、犬の周りを回る時に待てを命じても良いが、動きながらの指示は減点となる。</p>
	<p>(9) 脚側停座、伏臥及び犬周回 (左回り) パネル左側の作業エリア内で脚側停座させる。停座後に伏臥を命じ、指導手は左回りで犬を一周して、犬の右側で止まる。指導手と犬は、少しの間静止した後次の課目に向かう。指導手は、犬の周りを回る時に待てを命じても良いが、動きながらの指示は減点となる。</p>		<p>(10) 右折 パネル前側の作業エリア内で、右に曲がる。</p>
	<p>(11) 左折 パネル前側の作業エリア内で、左に曲がる。</p>		<p>(12) 回れ右 パネル前側の作業エリア内で、回れ右をする。指導手と犬は、そのまま止まらず180度回った後に次の課目に向かう。</p>
	<p>(13) 回れ左 パネル前側の作業エリア内で、回れ左をする。指導手と犬は、そのまま止まらず180度回った後に次の課目に向かう。</p>		<p>(14) 反転ターン パネル前側の作業エリア内で、反転ターンをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>
	<p>(15) 270度右回り パネル前側の作業エリア内で、270度右回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>		<p>(16) 270度左回り パネル前側の作業エリア内で、270度左回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>

パネ ル 一 覧

	<p>(17)360度右回り パネル左側の作業エリア内で、360度右回りをする。犬の足は、作業エリアから少し出ても良い。</p>		<p>(18) 正面停座 脚側行進中に、パネル左側の作業エリア内で正面停座させる。正面停座する時に指導手は、4歩まで下がっても良い。ただし、横に動く、止まってから再度動くことは減点となる。 当課目は、(1)～(4)のいずれか1つの課目と組み合わせ使用される。</p>
	<p>(19) 緩歩 パネル左側作業エリアから緩歩を行う。指導手と犬は、はっきりと課題の違いがわかるように行うこととし、次の歩度が変わるパネルまで続ける。</p>		<p>(20) 速歩 パネル左側作業エリアから速歩を行う。指導手と犬は、はっきりと課題の違いがわかるように行うこととし、次の歩度が変わるパネルまで続ける。</p>
	<p>(21) 常歩 パネル左側通過時から常歩を行う。指導手と犬は、はっきりと歩度の違いが分かるように行うこととし、次の課目に行くまで常歩し続ける。</p>		<p>(22) 螺旋 (右回り) 指導手と犬は、犬を外側にして約150cm間隔で配置された3つのコーンを、螺旋状に右回り(時計回り)をする。最も遠いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>
	<p>(23) 螺旋 (左回り) 指導手と犬は、犬を外側にして約150cm間隔で配置された3つのコーンを、螺旋状に左回り(反時計回り)をする。最も遠いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>		<p>(24) スラローム (片道) 約150cm間隔で配置された4つのコーンを、指導手と犬は、最初のコーンを犬の左肩から入り、スラロームを行う。なお、やり直しは認められない。</p>
	<p>(25) スラローム (往復) 約150cm間隔で配置された4つのコーンを、指導手と犬は、最初のコーンを犬の左肩から入り、スラロームを往復して行う。なお、やり直しは認められない。</p>		<p>(26) 8の字 (誘惑なし) 指導手と犬は、何も入っていない給餌容器4つの間を、8の字で通過する。8の字の最後は、最初に入った方向とは、反対方向に出ていき、止まらずに次の課目に向かう。なお、やり直しは認められない。</p>
	<p>(27) 指導手周回 パネル左側の作業エリア内で脚側停座後に、犬は右回りでハンドラーの周りを回り、脚側停座する。脚側停座後は、次の課目に向かう。</p>		<p>(28) 1歩前進 パネル左側の作業エリア内で脚側停座後に、指導手は犬とともに1歩前進して、脚側停座させる。脚側停座後は、次の課目に向かう。</p>
	<p>(29) 正面停座及び1歩後退 脚側行進中、パネル左側の作業エリア内で正面停座を命じる。その際に、指導手は4歩まで下がることのできる。正面停座後、指導手と犬は1歩後退して再び正面停座を命じる。この時に、指導手と犬は作業エリアから出ても良い。 当課目は、(1)～(4)のいずれか一つの課目と組み合わせ使用される。</p>		<p>(30) 螺旋回り (犬外側) 約150cm間隔で配置された3つのコーンの周りを、犬は指導手の外側で螺旋右回り(時計回り)をする。最も近いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>
	<p>(31) 螺旋回り (犬内側) 約150cm間隔で配置された3つのコーンの周りを、犬は指導手の内側で螺旋左回り(反時計回り)をする。最も近いコーンから回ることとし、最後のコーンを回ったら、次の課目に向かう。</p>		

2023 北関東ブロック訓練競技会

※2019年9月1日より、服従スペシャルと重複出陳可能なクラスが変更となりました。これに伴い、従来と比較して部立てが一部変更となりましたので、競技クラスのお申し込み間違いにご注意ください。

訓練競技会規程を承認の上、出陳料を添えて申込みいたします。 ※競技クラス1つにつき1枚です。

受付番号	T
------	---

競技クラス	第	部	指導手	アマチュア ・ 一般	公開訓練試験	科目()
	※ラリーオビディエンスIは右記のサイズを選択して下さい。			スモール・ミディアム	ラージ	B H

公開訓練試験申込みについて

- ・本申込書…1枚
- ・訓練試験受験登録申請書(※注)…2枚
- ・上記、計3枚に記入し、受験料を添えてお申し込みください。

※注：JKCホームページより受験課目の用紙をダウンロード
<https://www.jkc.or.jp/>
 またはJKC本部より取り寄せてください。技術事業課 TEL 03-3251-1656

出陳犬	犬種 (正式名称)							性別	オス ・ メス
	ジャーマン・シェパード・ドッグ、ダックスフンド、チワワ等毛種にバラエティーのある犬種をご出陳の方は毛種もご記入ください。								
	本犬名 (英字)								
	本犬名 (カタカナ)								
	JKC登録番号 (※1)	—	/	生年月日 (※2)	年	月	日		
両親犬	父犬名 (英字)								
	母犬名 (英字)								

所有者	フリガナ	所属クラブ名										
	氏名											
	〒	—	TEL	—	—	緊急連絡先					—	—
	住所											
指導手(※3)	フリガナ	所属クラブ名										
	氏名											
	〒	—	TEL	—	—	緊急連絡先					—	—
	住所											

申込責任者欄取扱者	氏名	印	E-Mail									
	〒	—	TEL	—	—	緊急連絡先					—	—
	住所											

所属訓練所名(所属先がない場合、ご記入は不要です。)	公認訓練士資格	有	無
	資格者番号	/	

○上記申込責任者は、出陳に関する照会先、取りまとめの責任者となります。無記入の場合は所有者が申込責任者となります。

○申込締切後、又は当日申込、ファックスでの受付はいたしません。

○この出陳申込書に出陳料を添えて申し込んでください。出陳料のないものは、受け付けられません。

◆JKC登録犬は必ず血統証明書に記載されている本犬名、登録番号をご記入ください。

◆審査後に出陳目録掲載事項に記載漏れや本犬が特定できないような誤りがあった場合、入賞が取り消されることがあります。

◆出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地(都道府県・市区)が掲載されます。

※1. 「交雑犬」「本会の非公認犬種」「本会の非公認団体登録犬」については「家庭犬準初等科」「特別犬の部」「オビディエンスビギナーI~II」に限り出陳できません。「家庭犬準初等科」「特別犬の部」「オビディエンスビギナーI~II」を除き、申込締切日においてJKC登録番号のない犬(単犬登録申請を含む)は出陳できません。

※2. 生年月日の確認は必ず行ってください。

※3. JKCのクラブに入会されていない方が指導手の場合、その家族の所有犬に限り出陳できます。本会の公認訓練士の助手であっても、本会のクラブ会員でなければなりません。

受領印

～会場整備費用について～

会場清掃等の整備のため、1日1台につき1,000円をお預かりいたします。また、会場入場は午前6時からとなります。

ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

2023年11月

北関東ブロック訓練士協議会 会長 池 上 行 雄

《駐車場での注意事項》

- ① 駐車場内では係員の指示に従って下さい。
- ② 駐車スペースには、テント、イス、ゲージ等の設置は出来ません。
- ③ 駐車場の場所取りは出来ません。

《会場内での以下の行為は禁止します》

- ① 物の煮炊き、バーベキュー等の行為
- ② 空ビン、空カン、ゴミ等の投棄、機材の放置
- ③ 排便排尿は決められた犬のトイレで行って下さい
- ④ 樹木、草花の採取、その他施設の損傷